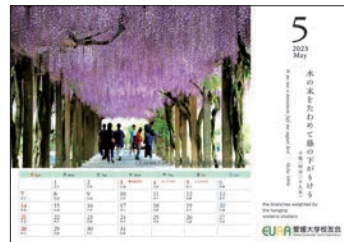


the branches weighted by
the hanging
wisteria clusters



愛媛大学校友会 子規俳句カレンダー 2023年5月



藤棚(大三島藤公園)

EUAA 愛媛大学校友会
Ehime University Alumni Association

校友会報

NO. 11 2025.11発行

EUAA 愛媛大学校友会
Ehime University Alumni Association

発行 2025年11月
愛媛大学校友会事務局
セキ株式会社

発行: 愛媛大学校友会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階
Tel: 089-927-8610 / Fax: 089-927-8609

E-mail: office@koyu.ehime-u.jp
webサイト: <https://www.koyu.ehime-u.jp/>

.....校友会の主な事業活動.....

2024年11月～2025年10月

2024年	
11月	校友会報第10号発行
11月	子規俳句カレンダー2025発行
11月 9日	第15回ホームカミングデイ
11月30日	近畿支部総会・懇親会
12月 7日	退職教員の会講演会
2025年	
1月18日	首都圏支部役員会
2月15日	中国支部役員会
3月 1日	近畿支部役員会
3月24日	学位記授与式
4月 7日	入学式
4月19日	首都圏支部役員会
5月17日	中国支部役員会
5月19日	総務企画専門委員会
6月 7日	近畿支部役員会
7月 5日	首都圏支部総会・懇親会
7月26日	理事会・総会・懇親会
7月29日	学生団体活動援助金交付式
9月27日	退職教員の会講演会
10月25日	中国支部総会・懇親会

■CONTENTS

学生支援事業	03
就職支援事業・学生募集活動支援事業・学生用図書整備事業	04
課外活動支援事業・準正課教育支援事業	05
留学生修学資金支援事業	06
データでみる愛媛大学生の概要	07
国内支部	08
ホームカミングデイ	09
サークル紹介	10・11
先輩学(先輩に学ぶ)	12～15
学部同窓会からのお知らせ	16・17
連携組織	18
子規俳句カレンダー	19
令和7年度校友会理事会・第8回定時総会及び懇親会開催 令和6年度事業報告書・決算及び令和7年度予算	20・21
大学からのお知らせ	22
校友会会員の皆様へ「WEB登録」のお願い	23

入学生・卒業生に記念品を贈呈しました。

Ⅱ 令和6年度学位記授与式が挙行されました。



令和7年3月24日(月)、愛媛県県民文化会館メインホールにて令和6年度愛媛大学学位記授与式を挙行し、1,754人の学部卒業生、457人の大学院修了生に学位記が授与されました。

式では、仁科弘重学長から、各学部及び大学院の代表者に学位記が手渡されたあと、「自ら学び続けることによってアップデートした科学的知識を基に、自ら論理的に考え、判断し、新たな価値を生み出し、付加できるような、創造性豊かな人間に成長してください。」とはなむけの言葉がありました。

次に、菅規行愛媛県副知事から、中村時広愛媛県知事の祝辞をご披露いただき、高橋祐二校友会会長からの祝辞では、「『MISSION PASSION ACTION』を合言葉に、皆さんが常に高い使命感を持ち、情熱と行動力で前途洋々たる未来を切り拓かれることを祈念申し上げます。」と激励の言葉が贈られました。

これに対し、学部卒業生を代表し、農学部の西井杏さんが、「大学生活で得たものを今後の人生に活かし、社会に貢献できるよう、未来へ羽ばたいていきたいと思います。」と答辞を述べました。続いて、大学院修了生を代表し、大学院地域レジリエンス学環の花本悠輔さんが、「これからの未来は決して平坦ではないかもしれませんが、愛媛大学での学びで培った知的創造力や多様な仲間と学び合った経験を糧に、新たな挑戦へと踏み出していきます。」と答辞を述べました。

校友会では卒業(修了)記念品として『今治タオル』を贈呈しました。

Ⅱ 令和7年度入学式が挙行されました。

令和7年4月7日(月)、愛媛県県民文化会館メインホールにて令和7年度愛媛大学入学式を挙行し、学部学生1,958人、大学院学生511人が入学しました。

仁科弘重学長から、「皆さんは、これからの大学生活で、科学的な知識や知見を修得し、自ら論理的に考え、判断し、新たな価値を生み出せるような、創造性豊かな人間に成長してください。そのためには、地域や社会や世界の動きをできるだけ理解し、論理的思考によって、『これからは、このように変わるはずだ』と考える習慣を身につける必要があります。自分で情報を集め、考え、未来を想像してみてください。日々、自分自身をアップデートし、自らの価値を高め、そして、新たな社会の構築に貢献して欲しいと思います。」と新入生へメッセージを送りました。

次に、菅規行愛媛県副知事から、中村時広愛媛県知事の祝辞をご披露いただき、高橋祐二校友会会長から、「この愛媛大学で、勉学に励み専門性を高めるとともに、高い志と幅広い視野、多様性を理解し受け入れる広い心、そして目標を実現するためのコミュニケーション能力とリーダーシップを身につけてください。」と祝辞をいただきました。

これに対し、学部入学生を代表し、工学部の森岡飛翔さんから、「先生方のご指導の下、将来社会に貢献できる人間になれるよう、高い志を持って勉学に励むとともに、豊かな人間性を築き、より良い人間性を養ってまいります。」と宣誓しました。続いて、大学院入学生を代表し、農学研究科の小椋未鈴さんが、「自己研鑽に努めると共に、各々の分野において専門性を高め、様々な課題に対する対応力を培い、社会に貢献できる人物となれますよう、日々努力いたします。」と宣誓しました。

校友会では入学生に入学記念品として『多機能ペン』を贈呈しました。



就活学生を応援しています。

■ 愛大ジョブフェス2025を開催しました。

令和7年6月5日(木)、大学会館にて「愛大ジョブフェス2025～未来のキャリアを探しに行こう!～(業界研究会)」を対面形式で開催しました。

本イベントは、業界や将来の働き方についての理解を深め、学生が長期的な視点でキャリアを考えるきっかけとすることを目的に、今回初めて全学生と保護者を対象として就職支援課が企画しました。

当日は午前・昼・午後の3コース入替制で開催され、県内外114社の企業・団体にご出展いただきました。参加学生は延べ700人のほり、各ブースでは企業の話に熱心に耳を傾ける学生の姿が多く見られ、会場全体が活気に包まれました。

開催後の企業アンケートでは、ほぼ全ての企業様が「大変満足」「満足」と回答し、多くの方から「学生の姿勢が真剣で、質疑応答も活発だった」「予想を上回る学生数に驚いた」「文理を問わず幅広い層と接点を持てた」といった高評価の声が寄せられました。特に、「学生と企業が相互理解を深める機会となり、非常に有意義だった」「夏のインターンシップ前という時期が非常に良かった」といったコメントをいただきました。

また、学生のアンケート結果でも9割近くが「大変満足」「満足」と回答しており、「普段知ることのない企業や業界の話を知ることができた」「希望以外の企業でも新たな発見があった」「対面で直接話すことで、文字情報では伝わらないリアルな働き方を感じることができた」といった声が多数寄せられました。中には「働くことへの不安が軽くなった」「企業選びの視野が広がった」といった前向きな気づきを得た学生もあり、進路選択に向けた有意義な場となったことがうかがえました。

※校友会では愛大ジョブフェス2025の開催経費補助の他、就活用写真の撮影費補助や合同説明会で配布された就活応援チケット(金券)の費用などを支援しました。



オリジナルノートを配布しました。

学生募集活動を支援するため、オープンキャンパスや大学訪問等で高校生に配布するオリジナルノートの製作費を校友会が支援しました。(愛媛大学のマスコットキャラクター“えみか”と、愛媛県イメージアップキャラクターの“みきゃん”がコラボレーションしたオリジナルデザインのキャンパスノート)

令和7年8月7日(木)、8日(金)の2日間、愛媛大学の各キャンパスで開催されたオープンキャンパスに参加した高校生は「めっちゃかわいい!ありがとうございます!」「自習用ノートとして使います。」などと笑顔で答えてくれました。



学生用図書を寄贈しています。

学生の学習環境充実のために、大学の図書館(城北地区中央図書館、重信地区医学部分館、樽味地区農学部分館)へ毎年300冊以上の学生用図書を寄贈しています。

●令和4年度…374冊 ●令和5年度…380冊 ●令和6年度…327冊

※寄贈本には校友会の印章が押印してあります。



サークル活動を応援しています。

令和7年7月29日(火)、愛媛大学校友会館2階サロンにて、愛媛大学学生団体活動援助金交付式を高橋祐二校友会会長、仁科弘重学長のご出席のもと実施しました。

同交付式は、校友会学生支援事業の一環で、愛媛大学の学生団体評価実施規程に基づき、大学が前年度における課外活動状況を評価し、優秀な団体に対し校友会から活動費(総額500万円)を援助するものです。

これにより、学生の課外活動の振興及び学生団体活動の活性化に資することを期待し、さらに校友会事業を広く理解していただくことを目的として支援を開始し、今年度で19回目となりました。



【給付対象…評価C以上:給付団体 計50団体
(体育系33団体、文化系17団体)】

【A評価の団体】
・体育系6団体…漕艇部、ダンス部、合気道部、
チアリーディング部、硬式野球部、
アイスホッケー部
・文化系4団体…邦楽部、合唱団、軽音楽部、交響楽団



交付式では、A評価団体の紹介後、仁科学長から、A評価団体に対する激励と校友会の支援に対する謝辞があり、続いて高橋校友会会長から、体育系全学サークル代表者と文化系全学サークル代表者のそれぞれに、活動援助金の目録が授与されました。

引き続き、高橋校友会会長から挨拶があり、「それぞれの団体において、日頃から真摯に取り組んでこられた結果が認められたものであり、その取り組みに対し敬意を表します。」とのA評価を受けた団体へのねぎらいと、会長ご自身が所属していた自動車部での活動を通じて得た仲間との絆や活動する上での心構えなどについてのお話がありました。

これに対し、学生団体を代表して、漕艇部の小野下美由紀さんが、「このご支援は活動をする上で大きな支えであり、愛媛大学の良き伝統を受け継ぎ、未来を築く一助となるようこれからも努力します。」との力強い謝辞がありました。

次いで、記念撮影後、受賞したA評価団体各代表者と高橋校友会会長、仁科学長、八尋教育学生支援機構長らとの懇談会が行われました。はじめに、各団体代表者による活動報告があり、その後、高橋校友会会長や仁科学長らに「モチベーションを維持する方法はありますか。」「何か音楽はやられていますか。」といった学生からの質問や、サークル毎のOB、OGと現役員との繋がりについての現状報告、活動資金を獲得するための基金の活用方法など様々な意見交換が行われ、和やかな雰囲気の中で有意義な懇談の場となりました。

10・11ページでは、A評価を受けた団体の中から2つのサークルを紹介しています。

愛U(ラブユー)の発行費用などを負担しました。

愛媛大学には、授業や研究といった卒業要件に含まれる「正課教育」、部活動やサークル活動といった学生の自発的活動である「正課外活動」とは別に、卒業要件には含まれない、あるいは単位付与は行わないが、愛媛大学の教育戦略と教育的意図に基づいて教職員が関与・支援する教育活動や学生支援活動として「準正課教育」が用意されています。

校友会は、その準正課教育支援事業として、①愛媛大学学生による調査・研究プロジェクト(プロジェクトE)、②スチューデント・キャンパス・ボランティア(SCV)、③愛媛大学リーダーズスクール(ELS)など準正課教育プログラムの実施経費を支援しています。



外国人留学生を応援しています。

■ 校友会では成績優秀な留学生へ奨学金を支給しています。令和6年度に受給した学生を紹介します。

リュウ 劉 嘉利	人文社会科学研究科・2年(採用時1年)	国 籍 中国 採用期間 2024年前学期(2024年4月～7月)
-------------	---------------------	-------------------------------------

■ 奨学金のお礼

このたびは、愛媛大学校友会奨学金の給付を賜り、心より感謝申し上げます。

私は人文社会科学研究科法学専攻に在籍し、可罰的違法性に関する研究に取り組んでおります。経済的な不安を抱える中、今回の奨学金給付は、学業と研究を続けていくうえで大変心強く、改めて学問に真摯に向き合う覚悟を新たにいたしました。将来は、国際的な法務分野に貢献できる人材となることを目指し、日々努力を重ねております。

■ 自己紹介

私は中国広東省出身で、現在は愛媛大学人文社会科学研究科に在籍し、刑法を中心とした研究に取り組んでおります。特に、可罰的違法性論を中国軽微犯罪の研究への応用に関する研究をテーマに、行政刑法の視点も交えて研究を進めております。大学時代は中国で日本文学を勉強していましたが、進路を転向し独学で中国の司法試験に合格し弁護士資格である中華人民共和国法律職業資格を取得しました。その後日本に渡り、法学理論をより深く理解するため、修士課程に進学しました。将来は国際的な法律問題を解決するため、研究時間以外にも英語の勉強、特に法律英語の勉強をしています。一番好きなのはカフェで英文を読むことです。

■ 愛媛大学での学生生活

愛媛大学に進学して以来、私は人文社会科学研究科で刑法および行政刑法を中心に学んでおり、特に行政刑法と可罰的違法性論に取り組んでいます。指導教授のご指導のもと、多くの文献や判例を精読し、両国の制度や法理の違いを学びながら、自身の視野を広げることができました。

学業の面では、研究に加え、学部生向けの法学部講義においてティーチングアシスタント(TA)を務める機会にも恵まれました。生活面では、喫茶店のアルバイトを通じて、日本の文化や生活習慣にも馴染み、充実した毎日を送っています。松山という落ち着いた環境で、集中して学問に取り組めることに感謝しています。

■ 将来の目標

将来は、弁護士として国内外の法務分野に携わり、国際的な視野をもった実務家として社会に貢献することを目指しております。特に、国境を越えたビジネス取引や在留外国人支援、日中間の法的紛争解決など、多文化・多言語の環境での実務対応が求められる分野に強い関心を持っています。

■ その他

勉強生活以外では、私は亀を5匹飼っています。種類は草亀(クサガメ)です。一番可愛い子の名前は「fullmoon」といいます。うちに来てからもう1年が経ちました。fullmoonはとてもおとなしくて、いつも水の中でのんびりしています。朝になると水槽のふちに上がって、日光浴をするのが大好きです。ご飯の時間になると、エサの袋の音を聞きつけて、すぐにこちらに泳いできます。その姿がとてもかわいくて、毎日癒されています。ときどき、手足をバタバタさせて泳ぎ回ったり、水の中に潜って長い間息を止めたりする姿も見られます。最近では、私の顔を覚えたのか、近づくと首を伸ばしてこちらを見つめてきます。



松山城のマスコットキャラクターよしあきくん



松山城から撮った写真



飼っているペット fullmoon



広東省広州市天河区の写真



カフェでの英語勉強

※校友会では海外派遣支援事業として「交流協定校への学生派遣補助」「短期海外研修補助」「JCSOS J-Basic加入料負担」などの支援も行いました。

大学(学生数)

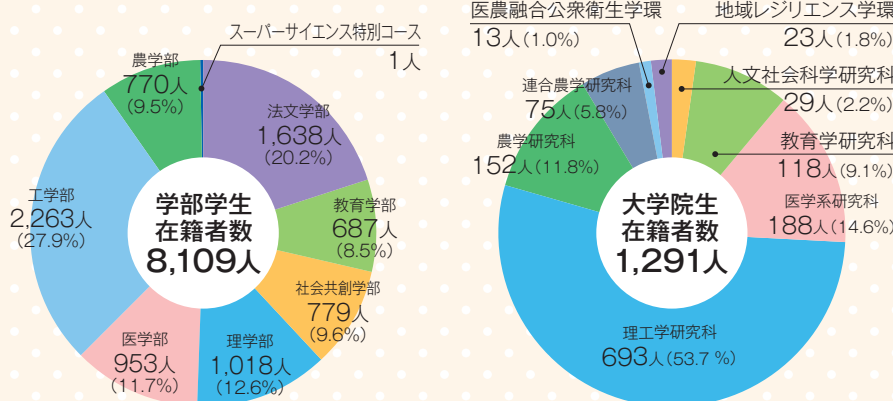
学部学生 8,109人
大学院生 1,291人

修士課程 875人

博士課程 321人

専門職学位課程 95人

愛媛大学は、7学部・6研究科・2学環を擁する、四国最大の総合大学です。

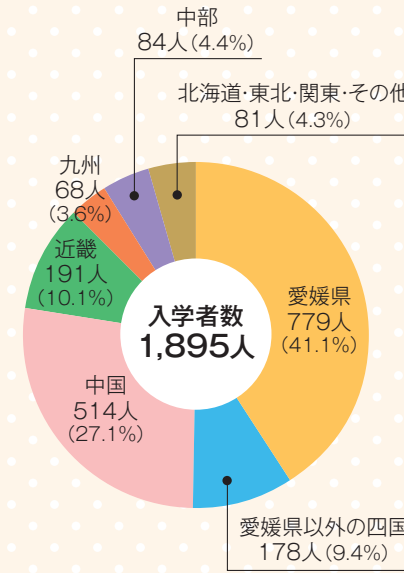
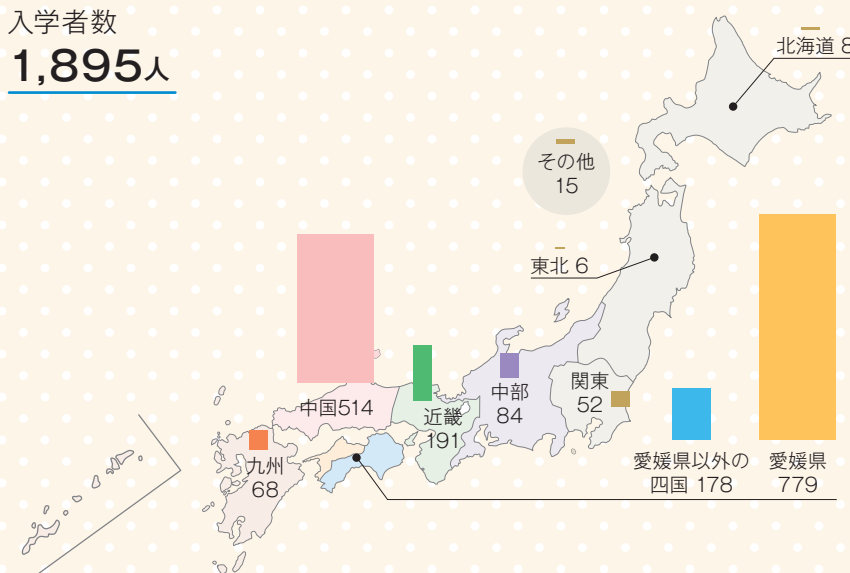


学部別在籍学生数割合

研究科別在籍学生数割合

令和7年度 入学者数・出身地別内訳(学部)

入学者数 1,895人

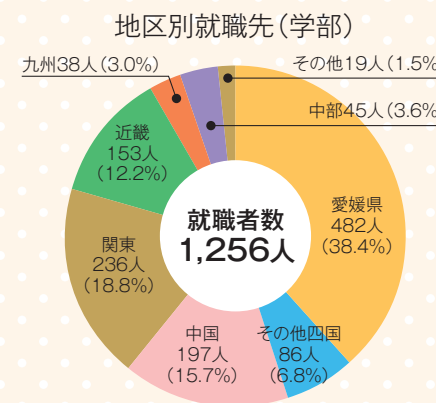
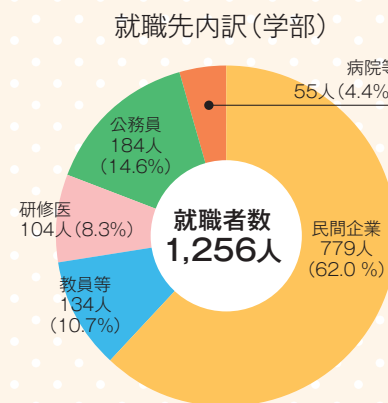
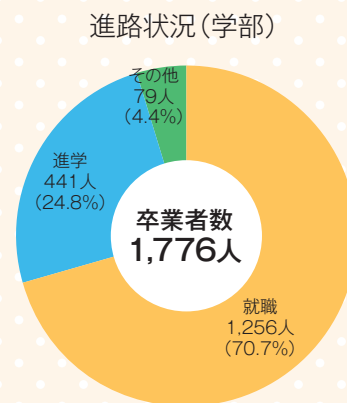


令和6年度 卒業者の進路状況(学部)

卒業生数 1,776人

進路状況 就職 1,256人 進学 441人 その他 79人

就職先内訳 民間企業 779人 教員等 134人 研修医 104人 公務員 184人 病院等 55人



Ⅱ 首都圏支部 第8回定時総会・合同懇親会を開催しました。

令和7年7月5日(土) 14時から、東京都千代田区の大手町サンケイプラザ4階大ホールにおいて定時総会・合同懇親会を開催しました。

総会では、令和5年度から6年度の事業報告及び収支決算案、令和7年度の事業計画及び予算案が審議・了承されました。その後、支部役員の選任について審議され、新支部長には清水栄治支部長代行(法文学部同窓会関東支部東京章光会会長)が選任されるなど新たな役員の選任が了承されました。

総会終了後、愛媛大学副学長の羽藤堅治教授から、愛媛大学の近況報告として、新たな学環新設に向けた取り組み報告などがありました。

引き続き、15時から同会場にて、校友会と法文学部、理学部及び工学部同窓会東京支部との合同懇親会が開催されました。今回の懇親会では、新社会人交流事業対象者(懇親会費無料)4人を含む119人という多数の方々に参加いただきました。

懇親会では、お楽しみ抽選会を実施し、「宇和島じゃこ天セット」「瀬戸内鯛めしセット」「伊予の麦味噌セット」といった愛媛にゆかりのある豪華景品が多数振る舞われるなど大いに盛り上がり、フィナーレは愛媛大学学歌を1番から3番まで元気よく大合唱し幕を閉じました。

今回、愛媛大学校友会定時総会開催に合わせて、同日11時から、校友会新社会人・若手社会人交流事業「全員集合 in 東京2025」を6年ぶりに復活、開催しました。このイベントは、校友会首都圏支部役員の太村幹事ら新社会人交流事業担当役員が中心となり企画・実施したもので、自称若手社会人を含む10人の方々が参加し、参加者の自己紹介から始まり、愛媛トークやグループ対抗ゲームなどで親睦の輪を広げました。



Ⅲ 近畿支部 第5回定時総会・合同懇親会を開催しました。

令和6年11月30日(土) 14時から、大阪市中央区の大阪倶楽部4階ホールにおいて、定時総会・合同懇親会を開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、前回開催した平成30年7月以来、6年ぶりの開催となりました。総会には、愛媛大学校友会の高橋祐二会長をはじめ、近畿圏に在住する会員64人が出席しました。

総会では、近畿支部規約の一部改正案、事業報告及び収支決算案、令和6年度の事業計画及び予算案が審議・了承されました。その後、次期支部役員の選任について審議され、新たな役員が選任されました。

記念撮影終了後、同会場にて、校友会と理学部、工学部、農学部同窓会関西(近畿)各支部との合同懇親会が開催されました。今回の懇親会では、新社会人交流事業として2020年3月以降に卒業された方は無料で懇親会に参加できる企画を実施した結果、3人の新社会人の参加がありました。

久しぶりの再会で昔話に花が咲き、お楽しみ抽選会でさらに盛り上がるなど、旧交を温める楽しい一時となりました。



今後の予定

中国支部	令和7年10月25日	定時総会・懇親会
近畿支部	令和7年11月29日	講演会・懇親会
首都圏支部	令和8年6月27日	講演会・懇親会

Ⅲ 第15回ホームカミングデイを開催しました。

令和6年11月9日(土) 15:00～
愛媛大学南加記念ホールにて

- オープニングイベント 愛媛大学書道部 ●学長挨拶
- 令和元年度・2年度卒業生対象卒業式イベント
- 特別講演「眠りのサイエンス」愛媛大学医学部附属病院睡眠医療センター長 岡 靖哲 特任教授
- 合唱コンサート 愛媛大学合唱団 ●学歌斉唱

令和6年11月9日(土)、愛媛大学南加記念ホールにおいて「第15回愛媛大学ホームカミングデイ」を愛媛大学と校友会共催で開催しました。ホームカミングデイは、卒業生の皆様や退職された教職員の方々を愛媛大学にお迎えし、大学の施設や学生祭の見学及び在校生や教職員との交流などを通して、母校へのご理解を深めていただくことを目的としています。

今年は卒業生、退職教職員及び現職教職員ら237人にご参加いただきました。

式典では、オープニングセレモニーとして、愛媛大学書道部による書道パフォーマンスが行われ、「縁」をテーマに作品を披露しました。その後、仁科弘重学長からの開会の挨拶に続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、全員が参加した形での卒業式が行えなかった令和元年度及び令和2年度卒業生を対象とした卒業式イベントが開かれました。仁科学長から記念品が贈呈された後、八尋秀典理事・副学長から祝辞が披露され、最後に、卒業生代表の森本悠暉さん(令和元年度卒)と河野莉奈さん(令和2年度卒)から、卒業生代表の言葉をいただきました。

その後、医学部附属病院睡眠医療センター長の岡靖哲特任教授による特別講演があり、「睡眠のサイエンス」と題して、睡眠のメカニズム等についてのお話がありました。

続いて、愛媛大学合唱団による合唱コンサート(2曲)があり、最後に合唱団と会場の皆様で学歌斉唱を行いました。

式典後に大学会館1階バルトで実施した懇親会では、高橋祐二校友会会長からの挨拶・乾杯の後、南予水産研究センターによるスマの解体ショーや愛大オリジナル商品が当たるくじびき大会を行い、大いに盛り上がりしました。



第16回ホームカミングデイ 令和7年11月8日(土)開催 開催の様子は次号でお知らせします。



邦楽部

(2025年8月現在)

顧問 小助川元太(教育学部 教授)
代表 丸山 道惇(法文学部)

01 現在の部員数

男子
7人

女子
21人

02 活動場所 大学会館2階 和室

03 活動時間 火・木 18時～21時

04 最近の活動内容・実績

最近の活動

2025年

- 1月 和楽器体験会(多機能学童保育広場すくっと)
- 3月 卒業演奏会
- 4月 新入生歓迎路上演奏会(城北キャンパス)
- 5月 留学生交流会での演奏披露(職員会館2階)
- 6月 愛媛大学農学部祭ステージ発表での演奏(樽味キャンパス)
- 7月 ・部内演奏会「初夏の調」
- ・和楽器演奏会(ツクイ・サンフォレスト松山)
- ・AINECS留学生パーティーでの演奏披露(大学会館2階)

今後の予定

2025年

- 9 / 8 (月)～10(水) 四国学生邦楽連盟合同合宿(職員会館2階)
- 11 / 8 (土)・9(日) 愛媛大学学生祭・愛媛大学ホームカミングデイ記念式典における演奏披露(南加記念ホール)
- 第31回定期演奏会(松山市民会館小ホール)
- 11 / 22(土) 第71回中四国国立大学合同演奏会・美術展覧会参加、演奏(島根県出雲市市民会館)
- 12 / 6 (土)・7(日) 第71回中四国国立大学合同演奏会・美術展覧会参加、演奏(島根県出雲市市民会館)



05 ホームページ・SNSアカウント

X(Twitter)

@AidaiHougaku

Instagram

@aidai_hougaku

06 アピールポイント

愛媛大学邦楽部は、箏・三絃・尺八の演奏活動をしており、毎年12月頃に開催している定期演奏会を目標に日々練習しています。大学から始めた部員が多く、のびのびとした雰囲気の中で取り組んでいます。週に一度外部指導の先生によるお稽古があり、学生だけでは得られない表現力や心構えを学ぶことができます。個人的に入部して良かった点は二つあります。一つ目は、なかなか接する機会が少ない日本の伝統楽器に触れられる点です。入部前は和楽器に対して堅苦しい古典的なものという印象がありましたが、実際は童謡やポップスなども演奏でき、和楽器が身近に感じられるようになりました。二つ目は、仲間との深い絆が築ける点です。和楽器の合奏は、指揮者がいないため、周りの音を聞きながら、息を合わせる必要があり、その過程で自然と信頼関係が生まれます。この関係は通常の友人関係とは異なり、短期間でも深い繋がりを形成できるのが特徴です。実際、部員同士は学年に関係なく非常に仲が良く、部活後に一緒にご飯を食べに行ったり、休日は一緒に遊んだりすることが多いです。

本年度は、中四国の大学に所属する邦楽部や箏曲部との合同合宿の主催や、学生祭・ホームカミングデイでの演奏や島根県で行われる中四国国立大学合同演奏会・美術展覧会(通称音美)の演奏会への参加など、より多くの方々に和楽器の魅力を知らってもらうために積極的に活動する所存です。2025年11月22日(土)には、松山市民会館小ホールにて「第31回定期演奏会」を開催いたします。日頃の練習の成果を発揮すべく、心を込めて演奏いたします。入場料は無料ですので、ぜひお気軽にお越しください。

今後のイベントの詳細はInstagram及びXに投稿していきますので、ぜひご覧ください。



アイスホッケー部

(2025年8月現在)

顧問 野本 ひさ(教育・学生支援機構 教授)
代表 伊藤 拳士朗(農学部)

01 現在の部員数

男子
17人

女子
4人

02 活動場所 ■イヨテツスポーツセンター
■愛媛大学山越グラウンド

03 活動時間 毎週火・水・土 2時間

04 最近の活動内容・実績

最近の活動

週3日の陸上練習と、毎月1回リンクのある岡山に行き、氷上練習を行っています。信頼のおけるコーチに指導を受けるために岡山に行き2泊3日の合宿をしました。

活動実績

2025年 3 / 3 (月)～15(土) 中四国学生アイスホッケー大会・リーグ戦 4位

今後の予定

2025年 11 / 14(金)～16(日) 中四国学生アイスホッケー大会・トーナメント戦



05 ホームページ・SNSアカウント

X(Twitter)

@ehime_aiho2024

Instagram

ehime_icehockey_2025

06 アピールポイント

アイスホッケー部は1981年に同好会からスタートし、2年後に体育連盟の認可を受けて公認サークルとして活動を開始した伝統あるサークルです。南国四国では珍しい氷上スポーツのサークルで、設立当初から現在の練習場所であるイヨテツスポーツセンターで氷上練習を行っています。

アイスホッケーはスピードと戦略、そして激しい身体ぶつかり合いが魅力のコンタクトスポーツですので、リンクの上では仲間との連携と瞬時の判断力が必要です。日頃の練習では上記のようなことを考えながら学生主体で練習を行っています。リンクの開いていない夏においては基礎トレーニングなどで体力向上を図り、スティックを使って基礎練習などをして技術向上を図っています。練習のときは真剣な空気で試合に勝てるよう鍛錬し、休みの時は部員同士で親睦を深めるなどメリハリある空気感で活動しています。練習中でも練習外でも、学年に関係なく積極的にコミュニケーションをとっており、よい雰囲気です。

入ってくる部員のほとんどは初心者ですが、週3回の部活動で練習を重ね、中四国準優勝を成し遂げたり、個人賞で最優秀選手賞を獲得したりしています。自分たちで考えながら活動しているため何かを成し遂げた時の達成感は格別です。

また、本年度サークル評価においてはじめてA評価を獲得し、愛媛大学校友会から多分の支援金をいただきました。交付式では高橋校友会会長から、過去のアイスホッケー部のエピソードを聞かせていただき、改めて伝統のある部であることを自覚いたしました。これまでアイスホッケー部は、キャンパスから離れた場所で活動することもあり、大学全体の公認サークルのあり方をあまり意識しないサークル運営であったと伝え聞いています。ここ数年間は、サークル活動のあり方を見直し、愛媛大学の公認サークルとして評価が得られるよう、アイスホッケー競技以外の活動(ボートレース大会やリレーマラソン大会といった学内イベントへの参加など)にも力を入れてきました。その結果が評価され、部員一同、心から喜んでいます。

今後の目標は、インカレ出場のため、11月に行われる中四国大会で優勝することです。現在、練習に使わせて頂いているイヨテツスポーツセンターは2027年1月に閉鎖することが決まっています。愛着のあるスポーツセンターのリンクで練習する時間も限られてきましたが、その限られた時間の中で精一杯練習を重ね、目標を達成できるよう今後も努力を続けていきます。



Ⅱ 先輩学の取材を再開しました！

愛媛大学公認団体である「愛媛大学チューデント・キャンパス・ボランティア(SCV)」の9つの団体の内「メディア・サポーター出版部(MSPT)」に所属する学生スタッフが、本学を卒業(修了)後、愛媛県内企業等で活躍されている先輩を訪問取材し、先輩の生の声を掲載する「先輩学(先輩に学ぶ)」を校友会ホームページに掲載しています。これは、様々な業種に就かれている卒業生同士や後輩学生との交流を図るとともに、校友会会員相互のネットワークを拡大させることを目的としています。

また、先輩からの有意義な学生生活の過ごし方や就職活動等へのアドバイスなど、先輩だからこそ教えてもらえる社会のこと、大学のことをインタビューしています。

コロナ禍で数年取材を自粛しておりましたが、本号より掲載を再開いたします。

福助工業株式会社

(取材日: 令和7年9月4日 場所: 福助工業株式会社・本社会議室)

福助工業は合成樹脂製品・ラミネート製品・食品容器・紙製品・不織布・複合製品など軽包装資材を主力とする企業です。今回は生産管理、商品開発、人事の各分野で活躍されている3人の社員の方々に話を伺いました。



学生時代

取材時: ラミネート工場業務課

福田 佑哉さん

2017年3月 法文学部総合政策学科 卒業



学生時代

取材時: 製造技術部 加工技術グループ

池内 拓実さん

2021年3月 工学部応用化学学科 卒業



学生時代

取材時: 人事部 人事課

大久保 遥香さん

2019年3月 理学部理学科 卒業



■ 現在、どのようなお仕事をされていますか。

〈福田さん〉

弊社では包装資材を生産しており、そのなかでも私はラミネート包装の生産管理をしています。ラミネート包装とは、異なる素材のフィルムを複数層に重ね合わせたものです。業務では受注内容に基づいて製造予定や製造指示等を作成し、滞りなく生産ができるようにしています。

〈池内さん〉

本社工場の製造技術部で、ラミネート包装の開発をしています。例えば、冷凍食品と氷の包装は両方ラミネートされていますが、前者の方が酸素を通しにくい構造になっています。このように、用途に応じてフィルムの種類や構造を検討し、新製品設計や既存製品の改良を行うのが主な業務です。

〈大久保さん〉

人事部に所属しており、会社の中の人に関わる仕事を幅広く担当しています。具体的には、給与計算、社員研修、新入社員へのヒアリングなどです。合同説明会への参加や面接準備等、採用関係も担っています。

■ お仕事の難しい部分とやりがいを教えてください。

〈福田さん〉

弊社では、私が所属している工場だけでも一万点以上のアイテムを生産しており、お客様のご要望も多岐にわたります。ただし、使用できる機械設備には限りがあるため、納期などを考慮して優先順位を立て、調整していく必要が

あります。こうした作業は大変な反面、求められた通りの製品が完成し、最終的に店頭に並んでいるのを目にすると、とてもやりがいを感じます。

〈池内さん〉

開発においては、まず要求項目を設定し、それらを満たす製品をつくっていきます。ここでカギとなるのが、高い要求項目をいかに低いコストで実現できるかです。バランスの調整は難しいものの、開発した製品が売上に貢献していると実感できたとき、大きな喜びを感じます。

〈大久保さん〉

採用活動を通して学生さんが弊社に興味を持ち、面接、内定、入社を経て活躍されるプロセスを見ると、「やってよかった」と心から感じます。実は、池内さんの就職活動中にも携わっていました。一方で、人に関わる業務の難しさは、正解がないことです。説明会やインターンシップ、社内研修などについて、常に最適解を考え続けています。もっとも、お二人が話したように面白さと難しさは表裏一体なので、これが面白さとも言えます。

■ 今のお仕事を選んだ理由やきっかけを教えてください。

〈福田さん〉

最初の出会いは大学で行われた説明会です。食品メーカーに関心を持っていたのですが、直接食品をつくるのではなく「包材」という形で食品に関わる道があること、そして、そのような会社が愛媛にあることを知り、興味を

持ちました。エントリーは全国の30~40社へしましたが、移動などの都合から全ての選考に足を運ぶのは難しかったため、「自分が本当に行きたいところはどこか」を考え、取捨選択を重ねていきました。なお、職種は特に絞っていません。部署ごとに役割は異なっても、会社として成果を出すという最終的なゴールは共通していると考えていたからです。最終的に、総合職として弊社に採用されました。

〈池内さん〉

私が弊社を初めて知ったのは大学の講義でした。もともと旅行業界に関心をもっていたのですが、コロナウイルスの影響で就職が難しい状況となり、愛媛県内の企業から魅力的な会社を探しました。私もエントリーは30~40社ほどしましたが、面接では3、4社まで絞りました。その際に軸としたのが、自分の身近な生活に役立っているものをつくっていること、そして、大学で学んだ高分子化学などの理系の学問を生かせることです。福利厚生なども確認はしていましたが「この会社ですっと働き続けたい」と思えるかを重視していました。

〈大久保さん〉

私も、出会ったきっかけは大学の講義です。当時の弊社の人事部の方からお話を伺ったのですが、実演を交えながら一生懸命伝えてくださる姿が印象的で興味を持ちました。エントリーしたのは西日本を中心に40社以上で、面接に進んだのは20社弱です。大学でこちらに来て愛媛が大好きになったので「四国近辺の就職もいいな」と思っていましたね。ジャンルは製造系、銀行、ベンチャーなどさまざまでしたが、「自分が働いているイメージができるか」を重視しました。そのため、説明会に参加するのはもちろん、会社訪問に対応していただける場合は必ず自分で足を運ぶようにしていました。最終的に弊社に縁があり、就職することになりました。

■ 職場の良いところや福利厚生について教えてください。

〈福田さん〉

若いうちから色々なことを任せてもらえるので、やりがいがあります。上司に「とりあえずやってみたら」と背中を押してもらい、安心して挑戦できました。責任は当然伴ってきますが、成長する速度も速くなるのが良いところです。福利厚生で言えば、単身のときは社員寮に住んでいたのですが、部署をまたいだコミュニティが生まれるのが良かったです。県外から就職した方はほとんど寮に住んでいたかと思います。会社が船を持っていて、免許さえあれば借りられるのも特徴的かもしれません。

〈池内さん〉

社員同士の交流が多く、部署内外を問わず風通しが良いです。寮でできたコミュニティを通じてプライベートな付き合いもありますし、会社としても歓談を楽しむ会が定期的に開催されています。こうしたフランクな場でできた関係性は、仕事を円滑に進める上でも大きな助けになります。私が福田さんと出会ったのも寮でした。男子寮には食堂が

あり、日々、栄養満点の食事を食べられるため、健康面でも安心です。

〈大久保さん〉

就職の際、福利厚生を特別重視してはいなかったのですが、入社してみると想像よりも充実していました(笑)。私も女子寮に住んでいますが、普通のマンションに弊社の社員が住んでいるという感じです。安心して住めますし、なにより職場に近いのは便利です。

福利厚生としては社員旅行もあります。私は九州に行ったのですが、海外に行っている方もいますね。行き先の選択肢が多いのは特色かもしれません。

また、池内さんが話したように風通しは良く、例えばオフィスには仕切りがなく話しやすい環境になっています。若いうちから挑戦できるのも、どの部署でも共通だと思います。

■ 余暇の過ごし方について教えてください。

〈福田さん〉

子供がいるので基本的には家族でどこかに遊びに行くことが多いです。アウトドアが好きで、よく海や山に行きます。趣味の釣りも時間を見つけて行っています。私が所属している部署は土日祝が休みなので、ライフワークバランスが取れる環境になっているかと思います。

〈池内さん〉

私は美味しいものを食べるのが好きなので、四国四県のちょうど真ん中である四国中央市に本社があることを生かして、四国各地の美味しいものを食べたり、観光名所を回ったりしています。あと、仕事で疲弊した時には趣味のゲームをしたり、寮の同期で時々ご飯に行ったりしながら、のんびりと過ごしています。

〈大久保さん〉

私は最近車を買ったので、ドライブに行くことが多いですね。基本的に土日が休みなのはもちろん、長期連休もしっかりとれるので、実家によく帰っています。お盆やゴールデンウィーク、年末年始など、長い時は九連休ほどあって、最近では八日間のお盆休みがありました。

■ 在学時について教えてください。

〈福田さん〉

私はフットサルのサークルに所属していて、サークルの友達と一緒にいることが多かったです。音楽も好きで、大学の近くにあるライブハウスによく友達と一緒にに行っていました。アルバイトは居酒屋の厨房をしていたのですが、就活の面接の際に「だし巻きを作るのが得意です」と話したら笑っていただけて、話題のきっかけになりました。

〈池内さん〉

私は三回生の前半までは勉強漬けの日々でした。特に化学科だったので、実験をしてはレポートを書く、というのを相当な頻度で繰り返していましたね。ただ、長期旅行は大学生のうちにしかできないことだと思ったので、タイなど

の海外を含めて少し無理をしてでも行くようにしていました。友達と課題をしつつ遊びつつといった感じで過ごした空きコマが、息抜きをする時間になっていたかと思います。

〈大久保さん〉

私も研究漬けでした。もう一つ力を入れていたのが、研究室配属まで所属していた愛媛大学公認の「愛媛大学学生メンターズ(ESMO)」という、未来の愛大生や新入生をサポートするボランティア団体の活動です。代表としてオープンキャンパスや入学式に向けて走り回っていました。その活動の中で学部以外の友達もできて、今でも全国津々浦々に会いに行っています。そういう意味で一生の友達を得られたのかと思います。実験、ボランティア活動、アルバイトと、メリハリをつけて頑張りました。

■ 愛大生へのアドバイスをお願いします。

〈福田さん〉

大学での生活は、自分では忙しいと感じていましたが、自分で生活リズムを決められたり長期休暇があったりする環境は特殊でした。今振り返れば時間をもっと大切にせばよかったです。数年後に「あのときこうしておけば」というのは人間誰しも考えることだと思うので、今この瞬間を精一杯楽しむことが大切だと実感しています。

大学生活は楽しいことだけではなく辛いこともあると思いますが、そういったものが数年後には自分にとって大事なものになります。時間的、経済的な制約はあると思いますが、限られたなかで最大限楽しんでみてください。

〈池内さん〉

私は就活に関して、会社名だけで判断するのではなく、実際に話を聞き、働いている人を見て、職場を体験してから志望企業を考えることをオススメします。私自身は、企業の名前から判断する場合が多かったのですが、就活を通して名前からは思いつかないような面白いことをやっている会社も多く発見しました。たくさんの企業を見る中で忙しくて大変かもしれませんが、企業の中身を

直接知れる「企業説明会」や「インターンシップ」を通して、自分の目で企業を確かめて悔いのない就活を目指してみてください。

〈大久保さん〉

私は就職支援課を活用して、面接対策をしっかり行いました。就職支援課で模擬面接を行う機会があったので、そこに練習に行っていました。エントリーシートが通ったとしても面接を重視する企業もたくさんあります。そのなかで緊張していても飾らずに言いたいことが言える精神状態でいられるよう、とにかく場数を踏みました。しっかりと準備をして面接に臨むといいと思います。それから、アピールする長所が分からないという方は、自分がやりたくないことを除いていくと、残った部分から自分の強みが見えてくるかもしれません。

学生生活に関しては、当時「たくさん遊びなさい」と言われて、正直「そんな時間がない」と思っていたのですが、時間はあります。福田さん、池内さんと同じ思いで、とにかく今を精一杯楽しんでいただきたいと思います。



株式会社アイテック

(取材日: 令和6年9月6日 場所: 株式会社アイテック・本社会議室)

アイテックは化粧品・医薬部外品の製造・販売、OEM・ODM・歯ブラシ、歯磨きの製造販売・各種プラスチック製品を取り扱う企業です。



取材時: 品質保証部開発課
永岡 幸弥さん
2024年3月 農学部生物環境学科 卒業

■ この会社を選んだ理由、動機を教えてください。

愛媛大学の合同説明会にて、「アイテック」の説明会に参加して、この企業の雰囲気の良さに惹かれたからです。

合同説明会に参加した際、思っていた以上に周りが就職活動を始めており、その雰囲気に焦り、尻に火が付く思いで就職活動を頑張りました。アイテック以外の面接を受けたときは、思うように会話が弾まなかったり、心持ちが全く異なったりしていたため、やはり「アイテック」が自分に合っているのではないかと強く思うようになりました。もともと第一志望の企業でしたが、ここに入るぞと思いながら一生懸命就職活動をし、念願叶って働くことができています。

■ 現在どのようなお仕事をされていますか。

研究開発職として化粧品を開発する仕事を行っています。現在は先輩方のお手伝いや先輩方が行っていた業務を引き継いだり、知見を深めながら自分のものとして吸収できるように頑張っています。

お盆休み前ぐらいまでに「研修課題」があり、自分でコンセプトを決めて試作し、化粧品を作る前段階の処方設計にも徐々に携わらせていただいている最中です。

■ 研究開発するにあたって、大学生時代に得た知識で役だったものがあれば教えてください。

得た知識よりも得た経験の方が役に立っています。その中でも一番大きかったのが「卒業論文」です。自分でテーマを決め、どういった研究をするのか、どういった手法が必要なのか、という論文作成にあたっての重要なことが処方

設計や実験の課程、なにか問題が起こったときに原因は何なのかというのを推測する時に役立っています。

■ 新しいことを始めようとすると、「失敗するのが怖い」という気持ちになりがちですが、そんな時はどう克服してチャレンジしましたか。

私も失敗すると怖いなどは思います。しかし、ここで進まないとい一生進まないなど、やるしかないという思いです。今でも新しいことを始めるのは怖いと思うことはありますが、何かしらに追い立てられて自分はやる人が多いです。

「思い立ったが吉日」という言葉がありますが、その言葉のように就職活動もやらないといけないと思いながら当初はグズグズとしていましたが、周りの空気に追い立てられ火が付いたので、新しいことを始めるには大きなきっかけが必要でした。

そのきっかけを見逃さないことですね、今だったらいけるっという感じで。

■ 社会人になって気を付けていること、大事にしていることはありますか。

一番気を付けていることは、言葉遣いです。コミュニケーションにつながる部分もあるのですが、職場内で誤解を生むような発言をしてしまうとそれだけでよくない印象を与えてしまいます。また、情報の齟齬も与えてしまうため、最近が一番気にしています。

これまで、誤解を与えてしまうことや自身の認識が違っていても何回かあったので、わからないことはすぐ聞いたり、間違った言い方をしたりしないよう心掛けています。

■ 最後に在学生へのアドバイスをお願いします。

自分の時間を大事に過ごしてほしいです。自分の時間がたくさんあるうちに自分の興味や関心のあるものを深めたり、旅行などいろいろなところに行くのもありだと思います。

大学生は自分が決めた時間割とアルバイト等で手に入れたお金で選択肢が広がるときなので、選択肢の多さをうまく活かせるように過ごしていただけたらと思います。

インタビューを終えて

愛媛大学メディアサポーター出版部(MSPT) 山下(社会共創学部3年)、谷口(法文学部2年)

【山下】

生産されている製品の展示を見せていただいたところ、日常的にスーパーで目にする包装物や有名なメーカーのパッケージが並んでいて驚きました。今回お話を伺った皆さまの仕事によって私自身の日常生活が成り立っていると実感し、「働いて社会にサービスを生み出す」ということが、よりイメージできるようになったと思います。また、印象的だったのが、皆さまが「大学生活、時間はある」と強調されていたことです。今を精一杯大事にして過ごしていきたいと思います。

【谷口】

部署も年齢も異なる三人の方にお話を伺いましたが、皆さん終始楽しそうに話してくださり、私自身もリラックスしてインタビューに臨むことができました。福助工業株式会社の社内の風通しの良さを強く感じるとともに、「やりたいことをやらせてもらえる環境」があるのは、こうしたオープンな雰囲気が根付いているからなのだと感じました。私も、将来このような前向きで働きやすい雰囲気の職場で、自分らしく働いていきたいと思いました。

インタビューを終えて

愛媛大学メディアサポーター出版部(MSPT) 藤山(取材時: 法文学部2年)、森(取材時: 法文学部2年)

【藤山】

今回の取材では、永岡さんが現在取り組まれているお仕事の内容や雰囲気等をお聞きするなかで、ひしひしとアイテックさんの雰囲気の良さや永岡さんの自社愛を垣間見ることができ、自身もこのように雰囲気が良く自分が生き生きと働ける職場に就職したいと感じました。また、新しいことにチャレンジすることについて、私も普段から物事を先延ばしにしてしまうことが多々あるのですが、永岡さんのこれまでの経験や今なされていることのお話をお聞きしながら、きっかけを見逃さず積極的に物事に取り組むことの大切さを再認識しました。私は残りの在学期間が約2年ありますが、その期間内で勉学に励むとともに自分の興味関心を深めたり、自身ができることを行ったりと有意義な時間を過ごしたいと思います。

【森】

今回コロナ禍後、そして自身初めてのインタビューで分からないところも多く取材前は緊張していました。しかし、永岡さんに気さくに答えていただいたおかげでリラックスして臨むことができました。また永岡さんのお話から「経験」の重要性を学びました。経験から新しいものの不安なことに対して立ち向かっていけると感じました。私の大学生活は残り2年弱と少なくなっていますが、今までの経験を自身の学生生活そして将来に活かすことができたらなと思います。

法文学部同窓会だより

会 員 数：24,637人(2025年3月現在)

支 部：東京章光会(関東)、にきたつ会(関西)、中国支部、四国支部

主な活動：総会・理事会、会報発行(年1回)、会員名簿発行・管理、同窓会提供講座、学部学生支援、
俳句募集、学生アンバサダー制度 など

沿 革：1959 文理学部同窓会創立

1979 法文学部同窓会に改組

法文学部同窓会の正式名称は「愛媛大学文理学部人文
学科及び法文学部同窓会」で、文理学部時代を合わせて
2024年に創立65周年を迎えました。

毎年9月初旬に発行されている同窓会報が届いていない
という方は、お送りできるように手配しますので、事務局に
ご連絡ください。



法文学部同窓会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 法文学部内
TEL:090-1002-6376
HP: <https://ehime-u-houbun-dousoukai.com/>
E-mail: support@ehime-u-houbun-dousoukai.com

教育学部同窓会だより

教育学部同窓会は1950年当時の男子師範・女子師範・青年師範の各同窓会代表が協議を行い、新制愛媛大学教育学部の
卒業生も迎え入れて「金亀会」を結成し、現在に至っています。(現在の名称には1959年に変更)

教育学部同窓会の主な活動としては教育学部に関する行事及び情報、また県内外の会員から送られてくる会員の皆様の情報等を
紹介した同窓会報を7月と2月の年2回発行し、約8,000人あまりの会員の皆様にお届けしております。また、令和8年は教育学部に
とって愛媛県師範学校(1876年設立)等の前身諸学校設立から、150年にあたるため、令和8年8月に予定している「第20回教育学
部同窓会懇親会」を「教員養成機関発足150年記念」として開催する予定です。なお、懇親会ではリーフレット形式の「150年記念誌」
配布を予定し、さらに令和9年2月発行の同窓会報142号を「150年記念号」
として特集を組み、発刊する予定で準備を進めています。

つきましては、可能な限り当時の校舎や行事の写真資料等を載せたいと考えて
おります。教育学部卒業生の皆様並びに校友会の会員の皆様、お手元に教育学部
に関連する当時の写真や資料がありましたら教育学部同窓会までご連絡をお願い
します。これからも、会員相互の親睦と連携を図りながらよりよい同窓会事業・
活動となるよう努めますので、会員の皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

愛媛大学教育学部 同窓会

【教育学部同窓会事務局】
〒790-8577
松山市文京町3番 愛媛大学教育学部事務課内
TEL:089-927-9383(月～金の午前中)
E-mail: dosokai.ed.ehime@gmail.com

社会共創学部同窓会だより

「愛媛大学社会共創学部同窓会」は、第1期生の卒業に合わせて設立され、今年度で7年目を迎えます。
まだまだ手探りで運営している部分が多いのですが、少しずつ同窓会組織として機能してきたように
思います。社会共創学部自体も10周年を迎え少しずつ卒業生も増えてきておりますので、同窓会の
役員にも新しい風を入れつつ活動の幅を広げていけたらと思っております。

2022年度から始めたキャリアセミナーも今年で4回目の開催となります。卒業生が直接在学生へ
自らが働く業界について語る機会となりますが、毎回非常に在学生からの評価が高く、同窓会の存在
意義を更に高められていると実感しております。

また、同窓会の公式LINEを活用した情報発信も定着してきており、総会やイベントの案内のみならず、
前述のキャリアセミナーの講師も公式LINEで募り運営をいたしました。公式LINEで卒業生と関わりを
持つことでよりインタラクティブな関係を築くことができ
ております。

しかし、まだまだ関わりを持てていない卒業生が多いことも
事実としてあります。今一度同窓会がもたらす価値を再定義し
卒業生や在学生のためになるように活動をしてまいりますので、
今後とも社会共創学部同窓会へのご支援とご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。



社会共創学部同窓会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番
TEL:089-927-8927
HP: <https://www.cri-ehime-u-graduate.jp/>
E-mail: support@cri-ehime-u-graduate.jp

理学同窓会だより

理学同窓会は愛媛大学文理学部理学科及び理学部の卒業生、大学院理学研究科及び理工学研究科(理学系)の修了生を
正会員とし、現在会員はおよそ9,500人です。本会は会員相互の親睦を図り、愛媛大学理学部等の発展に寄与することを目的と
しています。

理学同窓会の主な活動として、総会の開催、会報の発行、東京支部及び関西支部総会の開催を行っています。在学生への支援と
して、教員採用予定者、留学希望学生へ奨励金支給、また、新入生へ記念品配布、理学部奨励賞対象者へ副賞贈呈、卒業生へは
記念品配布と共に同窓会へ住所登録を依頼しています。

ほかに、学科や講座等の常置同窓会、同期会、研究室同窓会等開催支援、理学部との共同事業、愛媛大学公認事業等へ資金的な
補助も行っています。

2024年9月7日に理学同窓会総会を開催しました。次回は2026年に開催予定です。隔年発行の会報については2025年2月に
第14号を発行しました。最近会報がお手元に届いていない方は、住所が
登録されていないか不明になっている可能性があります。ぜひ、新しい
連絡先を理学同窓会へお知らせください。

また、会員の皆さんからの投稿を歓迎しています。小規模な同窓会の
開催やユニークな活動をしている会員の情報、さらに本同窓会員が
職業や社会活動などにより受賞をしたというようなニュースなども
ご存知の方は事務局へお知らせください。

理学同窓会事務局

〒790-8577 松山市文京町2-5 理学部内
TEL/FAX:089-927-8424
HP: <https://www.sciehime-u.jp/rigakudousou>
E-mail: rigakudousoukai@sciehime-u.jp

工学部同窓会(工業会)だより

工業会(愛媛大学工学部同窓会)は、新居浜高専時代に設立された工業会の前身となる「国領会」の設立から78周年を迎えます。
今年度も「会員相互の親睦と人格の向上を図る」という工業会の活動精神の根幹に沿った「事業運営」「支部活動」「大学への支援」を
積極的に進めて参ります。

工学部の卒業生は自動的に工業会の正会員となります。入学時に頂いた終身会費により卒業生の名簿の管理、会誌の発行などを
行っており、会員数は2万7千人を超え、東京、東海、近畿、岡山、広島、高松、高知、愛媛の8つの支部で懇親会を兼ねた支部総会や
講演会、工場見学会などを開催しています。広島支部では、広島カープ戦の観戦会も開催されています。

コロナ禍により事業活動が実施できない状態がしばらく続き
ましたが、徐々に以前の活気を取り戻してきました。

近年は、全学の同窓会である校友会との合同親睦会なども開催
されるようになりましたが、工業会からは参加者への補助もしており
ますので、会員のみならず、どうぞ、工業会事業にご参加ください。

事務局からのお願いです。転勤などで連絡先が変更になり
ました際には、事務局までご連絡をお願いします。



工業会公式サイト
二次元コード

愛媛大学工業会事務局

〒790-8577
松山市文京町3番(愛媛大学工学部内)
TEL:089-927-9702
HP: <https://www.eu-kogyokai.jp/>
E-mail: kogyokai@eu-kogyokai.jp

愛媛大学 最近のピックアップ

社会共創学部創立10周年記念行事を開催しました。

社会共創学部創立10周年記念行事を、2025年8月22日(金)に愛媛県民文化会館にて開催し、330人の方々に参加いただきました。
仁科弘重愛媛大学長による開会挨拶の後、松村暢彦社会共創学部学部長から、「社会共創学部は、地域社会の持続可能な発展を牽引
する「未来創造型人材」の育成を目指し、分野横断的な知識・技術と地域の特性を生かした
多様な実践プログラムを導入している。今後も地域やステークホルダーと連携しながら、
実践的な教育と研究を精力的に推進していく。」旨のお話がありました。

その後、本記念行事のメイン企画である「えひめのミライ」を考えるワークショップが開催され、
高校生、大学生、社会人、地域ステークホルダー、教員といった多様な立場の参加者が5～6人の
グループに分かれ、「シナリオ分析」という手法を用いて未来の愛媛について議論しました。

参加者からは「普段使わない脳を使った感覚で新鮮だった。」「とても良い手法を学んだので
職場でも共有したい。」といった前向きな感想が多く寄せられました。



Ⅱ 愛媛大学退職教員の会 総会・懇親会を開催しました。

令和6年10月25日(金)、愛媛大学退職教員の会 総会・懇親会を、愛媛大学校友会館で開催しました。

「愛媛大学退職教員の会」は愛媛大学を退職した教員を構成員(会員)とし、大学の教育研究の発展を支援すること、地域社会と連携してその発展に寄与することを目的に、平成16年2月6日に設立した任意団体です。

平成30年度に総会を開催した後、新型コロナ禍の影響で中止となり、実に6年振りの開催となりました。

総会終了後、校友会館1階レストラン(メイプル)で開催した懇親会には、15人が参加しました。曲田退職教員の会会長の挨拶、乾杯で宴が始まりました。

宴の途中で会員の皆さまの近況報告や現在取り組まれている研究のお話や昔の思い出話が披露され大いに盛り上がりました。最後は、水口副会長のご発声で中締めが行われ、2年後の総会での再会を楽しみに散会しました。



Ⅱ 令和6年10月11日(金)、愛媛大学退職職員会 総会・懇親会を愛媛大学校友会館で開催しました。

「愛媛大学退職職員会」は愛媛大学を退職した事務系、技術系、医療系等の職員を構成員(会員)とし、会員相互の親交に関する事、会員が行う愛媛大学の教育研究等の支援に資することなどを目的に、平成15年11月20日に設立した任意団体です。

前々回(令和2年度)の総会は新型コロナの影響で中止、前回(令和4年10月)の総会は愛媛県内在住の会員のみの限定の開催(懇親会なし)でしたので、全く制限のない開催は実に6年ぶりとなりました。

校友会館2階のサロンで開催した今回の総会には、愛媛県内外から29人が参加し、事業計画や役員選任等の議題について審議され、原案どおり承認されました。

総会終了後、校友会館1階レストラン(メイプル)で開催した懇親会には、愛媛大学から現役の事務系幹部職員も合流し、全体で41人が参加しました。

上甲退職職員会会長の挨拶の後、池田副会長の乾杯で宴が始まりました。久しぶりの再会を握手して喜び合い、宴の途中で全国各地から集まった参加者を中心に近況報告や昔の思い出話が披露されるなど大いに盛り上がりました。

最後は、吉田副会長のご発声で中締めが行われ、2年後の総会での再会を楽しみに散会しました。

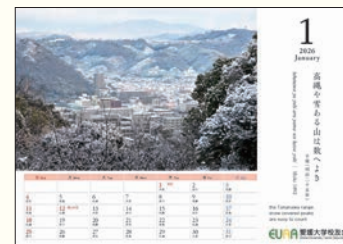


校友会では、愛媛大学長が選句した郷土松山が誇る俳人正岡子規の俳句と、大学職員が撮影した愛媛県内の四季折々の写真を掲載した卓上カレンダーを毎年作成しています。

表面は写真とスケジュールを、裏面はハガキとして使えます。俳句の英訳も掲載していますので、このカレンダーを通して国内外の皆様と愛媛大学校友会や子規との出会いの機会になれば幸いです。

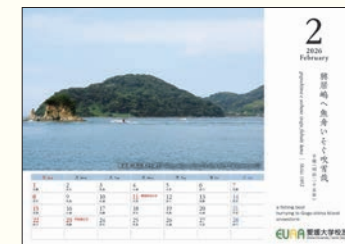
子規俳句カレンダー2026

1月 高縄や雪ある山は数へよき



松山市内雪景色

2月 興居嶋へ魚舟いそぐ吹雪哉



興居島(高浜港より望む)

3月 永き日や衛門三郎浄瑠璃寺



浄瑠璃寺

4月 山寺に咲て名もなき櫻哉



しだれ桜(愛媛大学社会共創学部)

5月 家も人も餅も菖蒲の匂ひ哉



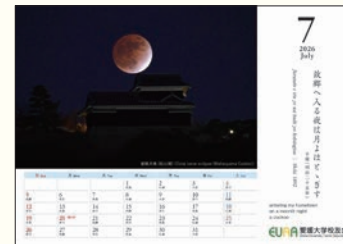
菖蒲(天赦園)

6月 紫陽花や紫尽きて浅緑



紫陽花(伊予郡松前町)

7月 故郷へ入る夜は月よほとゝぎす



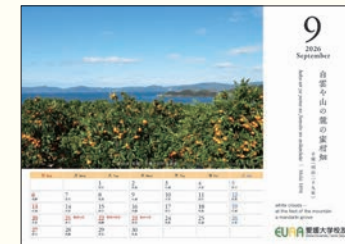
皆既月食(松山城)

8月 ほのぼのや蓮の花咲く音す也



古代ハス(松山考古館)

9月 白雲や山の麓の蜜柑畑



蜜柑畑(愛媛大学農学部附属農場)

10月 山遠しぱった高く飛ぶ秋日和



バッタ細工

11月 我庭の空に鶺鴒舞ふ小春哉



トビ(大洲市春賀)

12月 春待たず年もをしまず寒の梅



初咲きの梅(日本庭園南楽園)

WEB
登録者限定
プレゼント

子規俳句カレンダー2026を、校友会WEB登録者限定でプレゼントいたします。

詳細、応募につきましては12月初めに校友会ホームページと校友会メールマガジンでご案内いたします。

先着100人を予定しておりますのでお早めにご応募ください。

※WEB登録については23ページをご覧ください。



令和7年7月26日(土)、愛媛大学校友会理事会・第8回定時総会及び懇親会を開催しました。

校友会館2階のサロンにおいて開催した理事会では、理事総数65人のうち55人が出席(うち委任状20人)し、総会の議案等について審議・承認されるとともに、高橋祐二会長、伊藤眞道副会長、柿木一高副会長が再任されました。

理事会終了後、南加記念ホールにおいて第8回定時総会を開催しました。

総会の開催に先立ち、本年4月15日に逝去された森本惇初代校友会会長への哀悼の意を表して黙祷を捧げました。

定時総会には会員70人が出席し、高橋会長から「在学生支援を中心に、卒業生への支援など校友会会員のネットワーク化を積極的に推進し、本会組織の充実・会員サービスの向上を図っていききたい」との開会挨拶がありました。引き続き、令和4～6年度の事業報告・収支決算、令和7年度の事業計画・収支予算及び次期役員改選について審議され、原案どおり承認されました。

定時総会終了後、ANAクラウンプラザホテル松山「ガーネットルーム」に移動して、会員74人が参加し懇親会を開催しました。

開会にあたり、高橋校友会会長と仁科愛媛大学長から、それぞれ挨拶があり柿木副会長の乾杯の発声で宴がスタートしました。

新型コロナの影響により6年ぶりの開催だったこともあり、久しぶりの旧友との再会で昔話に花を咲かせるなど楽しい一時を過ごしました。中締めが近づいた終盤には、参加者全員で愛媛大学学歌を大合唱し、引き続き、伊藤副会長の一本締めで宴は盛会裡に終了しました。

閉宴後、参加者全員で記念写真を撮り、次回の再会を誓い合いました。

定時総会

審議事項

1. 令和4年度、5年度、6年度の事業報告及び収支決算について
2. 令和7年度の事業計画及び収支予算について
3. 校友会役員の改選について
4. その他

報告事項

1. 愛媛大学ホームカミングデイについて
2. その他



校友会役員紹介 令和7年度～(次回総会まで)

(敬称略:50音順)

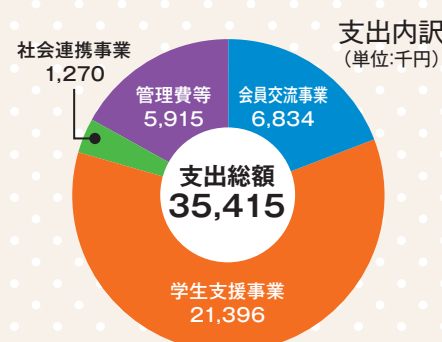
役職	氏名	現職
会長	高橋 祐二	工学部同窓会(工業会)、三浦工業株式会社相談役、愛媛県商工会議所連合会 会頭
副会長 (常任理事)	伊藤 眞道	法文学部同窓会、株式会社いよざんホールディングス 取締役監査等委員
副会長 (常任理事)	柿木 一高	工学部同窓会(工業会)会長、元四国電力株式会社 副社長【総務企画担当】
常任理事	井口 秀作	法文学部長、教授
常任理事	垣原登志子	農学部同窓会(ユウカリ会)会長
常任理事	片山 泰志	法文学部同窓会、四国ガス株式会社 代表取締役会長
常任理事	黒河 安德	法文学部同窓会会長
常任理事	合田 みゆき	教育学部同窓会、フリーアナウンサー
常任理事	上甲 克和	退職職員会会長
常任理事	鈴木 裕子	総務部総務課長、【総務企画担当】
常任理事	瀬野 英二	元愛媛県産業技術研究所所長、教育学生支援機構特定教授【総務企画担当】
常任理事	高橋 治郎	教育学部同窓会会長
常任理事	谷口 丈太	社会共創学部同窓会会長
常任理事	谷水 恭子	法文学部同窓会、三浦工業株式会社執行役員
常任理事	千葉 昇	理学同窓会会長
常任理事	豊田 洋介	理学同窓会、株式会社フジ 取締役上席執行役員
常任理事	鍋加 浩明	医学部同窓会会長、松山大学教授
常任理事	VERONICA RUTH	元国際連携推進機構教授
常任理事	羽藤 堅治	副学長、農学部教授、【総務企画担当】
常任理事	羽藤 直人	医学部長、教授
常任理事	治多 伸介	農学部長、教授
常任理事	日野 克博	教育学部長、教授
常任理事	前原 常弘	理学部長、教授
常任理事	曲田 清維	退職教員の会会長、常任理事会議長、【総務企画担当】
常任理事	松村 暢彦	社会共創学部部長、教授
常任理事	水口 和壽	退職教員の会副会長
常任理事	森本 千恵	理学同窓会副会長、松山東雲短期大学教授

役職	氏名	現職
常任理事	森脇 亮	工学部長、教授
常任理事	米田 剛	農学部同窓会(ユウカリ会)、三浦工業株式会社 代表取締役社長
理事	青野 治彦	法文学部事務課長
理事	青野 宏通	工学部同窓会(工業会)副理事長、理工学研究科(工)教授
理事	阿部 修一	教育学部同窓会事務局長
理事	阿部 晋	教育学部同窓会副会長
理事	池田 政昭	退職職員会副会長
理事	伊月 知子	国際連携推進機構准教授、法文学部同窓会
理事	猪野 周宣	工学部事務課長
理事	宇都宮 隆	教育学部事務課長
理事	大谷 勲	理学同窓会副会長
理事	岡田 慎之	校友会中国支部支部長、法文学部同窓会
理事	斧 純司	教育学部後援会会長
理事	梶原 佑介	理学部後援会会長、施設基盤部施設企画課副課長
理事	河村 佳和	法文学部同窓会事務局長
理事	桐野 律子	教育学生支援部長
理事	楠 和俊	校友会近畿支部支部長、農学部同窓会(ユウカリ会)
理事	河野 太志	農学部事務課長
理事	小清水正輝	医学部学務課長
理事	佐伯 由香	退職教員の会理事
理事	重川 光正	農学部後援会会長
理事	清水 栄治	校友会首都圏支部支部長、法文学部同窓会
理事	須賀 義文	医学部同窓会副会長、すがクリニック 消化器内科・婦人科院長
理事	高須賀政繁	農学部同窓会(ユウカリ会)
理事	高田 莉穂	社会共創学部同窓会監事
理事	瀧口 真穂	財務部財務課長
理事	谷 弘幸	理学同窓会、理工学研究科(理)准教授

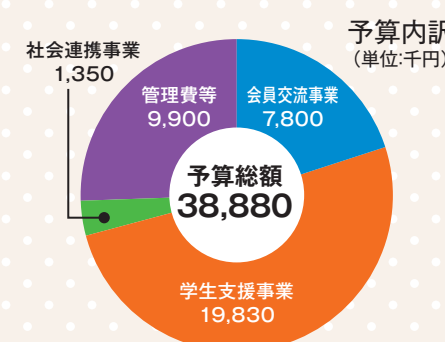
役職	氏名	現職
理事	鳥生 勉蔵	法文学部同窓会副会長
理事	中林 ゆき	医学部同窓会副会長、法医学講師
理事	西村 勝志	退職教員の会理事
理事	華谷 勝	工学部後援会会長
理事	濱田 桂子	退職職員会監事
理事	本多 恭子	理学部事務課長
理事	本多 伸光	医学部後援会会長
理事	松友 伸治	社会共創学部後援会会長
理事	丸橋 繁	医学部看護学科同窓会会長、附属病院副看護師長
理事	森野 祥子	法文学部後援会会長
理事	吉田 一恵	退職職員会副会長
理事	和氣孝夫	社会共創学部事務課長
監事	武岡 英隆	退職教員の会理事
監事	山村 滋	退職職員会
幹事	池内 直之	工学部同窓会(工業会)理事長
幹事	井堀 春生	工学部同窓会(工業会)理事、理工学研究科(工)教授
幹事	上谷 浩一	農学部同窓会(ユウカリ会)、農学研究科教授
幹事	久保 泰敏	法文学部同窓会
幹事	小岡亜希子	医学部看護学科同窓会副会長、医学系研究科講師
幹事	白方 大海	社会共創学部同窓会副会長
幹事	配川 幸一	農学部同窓会(ユウカリ会)、農学部技術室技術員
幹事	村上 朋子	教育学部同窓会副会長
幹事	矢野 裕司	教育学部同窓会副会長
幹事	渡邊 政富	工学部同窓会(工業会)副理事長
顧問	仁科 弘重	愛媛大学長
参与	鮎川 恭三	元愛媛大学長

令和6年度 校友会入会者数1,936人

■ 愛媛大学校友会 令和6年度決算



■ 愛媛大学校友会 令和7年度予算



学生支援事業

- ・準正課教育支援
- ・課外活動支援
- ・学生募集活動支援
- ・就職支援
- ・海外派遣制度支援
- ・留学生修学資金支援
- ・学生用図書整備
- ・資格取得支援
- ・新入生・卒業生記念品贈呈

会員交流事業

- ・校友会報No.10を発行
- ・ホームカミング日を大学と共催
- ・国内支部役員会、総会、講演会、懇親会を開催

社会連携事業

- ・子規俳句カレンダー作成
- ・講演会を退職教員の会と共催

■ 新施設E.U. Innovation Commons(イー・ユー・イノベーションcommons)が完成しました。

愛媛大学では、地域産業の活性化や大学発ベンチャーの創出を支援する新たな拠点、「E.U. Innovation Commons(イー・ユー・イノベーションcommons)」を、松山市内の城北キャンパス及び樟味キャンパスに整備しました。研究開発と産学連携のハブとなるこの施設が、いよいよ本格稼働を開始しました。

この施設は、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」の支援を受けて実現したもので、産官学金民の多様な主体が一体となり新たな価値を創出する場として設計されました。

城北キャンパスには、スタートアップ企業の創出や産業界との連携を視野に入れた施設を新築しました。ディープテック(先端技術分野)に対応した実験室に加え、起業準備や大規模な共同研究に対応するレンタルオフィスや共用会議室などを整備し、大学の研究成果を社会に還元するための基盤が大幅に強化されました。

一方、樟味キャンパスでは、「スマート農業」や「食と健康」分野に特化した研究拠点として、既存施設を改修しました。温室や実験施設などを整え、地域におけるアグリイノベーションの中核としての活用が始まっています。

「E.U. Innovation Commons」は、単なる研究施設ではなく、多様な人々が出会い、協働する“知の共創拠点”を目指しています。愛媛大学の研究者に加え、共同研究を行う企業の研究者や、大学の知的財産を活用する地域企業、さらには大学発ベンチャーの起業家など、多様な人材が集い、それぞれの知識や技術を結集して、新たな産業や価値の創出に挑みます。

令和6年10月30日に開催された開所式では、校友会会長でもある高橋祐二・愛媛大学研究協力会会長をはじめ、文部科学省や県・市の自治体関係者、地元企業、経済団体など、各界から多数のご来賓を迎え、盛大に式典及び施設内覧会が開催されました。参加者からは、本施設への大きな期待や、大学と地域との連携強化に向けた力強いメッセージが寄せられました。

なお、愛媛大学では、本施設に先立ち、地域の多様なステークホルダーと協働する場として、「E.U. Regional Commons(イー・ユー・リージョナルcommons)」も設置しています。今後は両施設を連携させ、「地域における知の拠点」としての機能強化を図ってまいります。

愛媛大学は、これからも大学の「知」と「人材」を社会とつなぎ、地域とともに未来を創り出す挑戦を続けてまいります。「E.U. Innovation Commons」から生まれる新たな成果に、ぜひご期待ください。



テープカット



E.U. Innovation Commons
(城北)



E.U. Innovation Commons
(樟味サテライト)

■ ネーミングライツ・パートナーが決定!お披露目式及び除幕式を開催しました。

愛媛大学では、愛称等の付与を通じて、当該施設等の魅力向上を図り、本学及び地域の活性化に資するほか、民間事業者と連携する機会を拡大するとともに、本学の教育研究環境の向上を図ることを目的として、本学の保有施設に対するネーミングライツ制度を導入し、昨年11月から初めてのネーミングライツ・パートナーの募集を行いました。このたび、城北キャンパス「E.U. Regional Commons」の「地域交流スクエア」と、同じく城北キャンパス「グリーンホール」のネーミングライツ・パートナーが決定し、お披露目式及び除幕式を令和7年5月15日(木)に開催しました。

10時15分から開催した、E.U. Regional Commons 1階のNP地域交流ルーム(地域交流スクエア)のお披露目式では、はじめに、仁科弘重学長から、「本学にとって初めてとなる2件のネーミングライツ協定締結、そして、本日のお披露目式は、「地域や社会との協働を一層深化させる」という本学の改革のマイルストーンになります。」と期待を込めた挨拶がありました。次に、NP地域交流ルームのネーミングライツ・パートナーとなった株式会社NPシステム開発の塩梅敏代表取締役会長から、大学の主役である学生を中心に、社会人や教員も含め、皆で「思考する場」として活用されることを期待しますとの挨拶がありました。

その後、仁科学長と塩梅会長が、NP地域交流ルームの入り口に『社会課題発掘と未来価値創造とともに』と書かれたパートナーネームプレートを設置し、両者の想いの詰まったNP地域交流ルームが完成しました。

11時から開催したコラボハウスホール(グリーンホール)のお披露目式・除幕式ではまず、今回のネーミングライツの概要が説明された後、仁科学長から、ネーミングライツ協定締結のお礼とともに、「ネーミングライツは連携協定ではありませんので、今後、必要に応じて連携協定も締結させていただき、企業様、本学の両者にとってウィン・ウィンの関係になることを期待させていただきたいと思います。」との挨拶がありました。

続いて、松坂直樹代表取締役からも「私たちが目指すのは、家づくりを通じて“街の魅力”そのものを高めていくこと。住みたくなる街をつくることで、家を建てる人を自然と増やし、地域に人が根付き、魅力が循環する未来をつくっていききたいと考えています。愛媛大学とのネーミングライツ契約は、そのビジョンをかたちにする第一歩です。」と、今後に向けた期待の言葉をいただきました。

その後、看板の除幕が行われ、爽やかな青空の下、「collabohouse hall」と銘打たれた壁面看板が現れると、式典に集まった関係者からは大きな拍手が送られました。



卒業生の皆様は、愛媛大学入学時に校友会へご入会いただいておりますが、卒業後の転勤、結婚等による住所変更を校友会事務局へご連絡されなかった場合、大学の近況や校友会のイベント情報などが不達になってしまいます。

また、郵便料金など配送費用の値上がりは深刻で、今後は「校友会報(毎年秋発行)」の発送先を原則WEB登録者中心にお送りすることや、紙媒体から電子媒体(メール等)への移行も検討せざるを得ない状況となっております。

まだWEB登録がお済みでない方は、お早めに二次元コードからのご登録をお願いいたします。ご登録いただいた方には、漏れなく校友会オリジナルグッズをプレゼントいたします。

登録はコチラから➡
※登録は無料です。



二次元コード

WEB登録特典

「校友会オリジナルグッズ」を進呈



トートバッグ
など

(在庫等の状況により変わります)

※愛媛大学校友会の会員の方のみご登録が可能です。
※なお、ご登録いただきました情報に関しましては、愛媛大学校友会が厳重に管理し、校友会からのご連絡のみに使用し、他の目的に使用したり、第三者に提供することはありません。

----- お問い合わせ -----

愛媛大学校友会事務局
〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階
TEL:089-927-8610/E-mail:office@koyu.ehime-u.jp

校友会組織



※正会員の資格は、校友会設立時(平成16年3月20日)以前と以後とで異なります。

愛媛大学校友会	議 会 総 理 事 会 常 任 理 事 会	校 友 会 設 立 前	卒 業 生 (同窓会会員)	校友会設立(平成16年3月20日)以前から次の同窓会会員である者 旧制松山高等学校同窓会、法文学部同窓会、教育学部同窓会 理学同窓会、医学部同窓会、医学部看護学科同窓会、 工学部同窓会(工業会)、農学部同窓会(ユーカー会)	
			退 職 教 員 の 会 会 員 退 職 職 員 会 会 員	校友会設立(平成16年3月20日)以前から 退職教員の会会員、又は退職職員会会員である者	
	正 会 員	校 友 会 設 立 後	卒 業 生	平成16年度以降の卒業生で在学中に準会員であった者 及び卒業後に入会した者	
			後 援 会 会 員	各学部後援会会員(準会員が在学中の期間のみ正会員となります) 法文学部後援会、教育学部後援会、理学部後援会 医学部後援会、工学部後援会、農学部後援会 社会共創学部後援会	
			大 学 教 職 員 (退職者を含む)	校友会設立(平成16年3月20日)以降に入会した者 (退職後も正会員となります)	
	支 部 等 国 内 支 部 海 外 支 部	準 会 員	在 学 生	在学中に校友会に入会した者(卒業後は正会員になります)	
		賛 助 会 員	本会の事業を賛助する個人・企業及び団体		
	事 務 局 事 務 局				